

平成18年
6月定例会号

塩竈市議会だより

	ページ
● 議案審議の概要及び各常任委員長報告	2
● 議案に対する討論・審議結果	3
● 市政に対する一般質問	4～7
● 決議・意見書・請願・表彰	8

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 AUG.2006 (平成18年8月)
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>



星まつり (藤倉保育所)

定例会会議日程

- 6月12日 会期の決定、諸般の報告、請願の撤回、
(本会議) 請願付託、議員提出議案審議及び採決、
議案説明、総括質疑、議案付託
- 6月14日 産業建設常任委員会
(委員会)
- 6月15日 総務教育常任委員会
(委員会)
- 6月16日 民生常任委員会
(委員会)
- 6月20日 各常任委員会委員長報告、議案の審議
(本会議) 及び採決、請願の審議及び採決
- 6月21日 市政に対する一般質問
(本会議)
- 6月22日 市政に対する一般質問
(本会議)
- 6月23日 市政に対する一般質問
(本会議)

平成十八年第二回市議会定例会は、六月十二日から二十三日までの十二日間の会期で開催されました。初日の本会議では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、請願二件とともに所管の常任委員会にそれぞれ付託されました。また議員提出議案二件が即日審議の上可決され、請願一件を請願者からの申し出により撤回することに決しました。

各常任委員会は、三日間開催され、付託された議案と請願の審査を行いました。

定例会二日目には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案十二件を原案のとおり可決しました。また請願は、一件を不採択、三件を閉会中の継続審査としました。

本会議三日目から最終日までの三日間にわたり十名の議員が市政に対する一般質問を行い、市政全般にわたり市当局の見解をただし閉会しました。

定例会のあらまし

平成十八年六月定例会 補正予算九千五百六十七万円可決

六月定例会における一般会計の歳出に係る補正予算額は、「コミュニティ助成金」「南部保育所解体等工事費」「心身障害児通園事業に係る空調機器設置費」等を内容とした一、二五七万円が追加計上されました。

また企業会計では水道事業会計において、老朽管更新事業の増額計上並びに利子負担の軽減を図る公営企業借換債の活用等により、収益的支出において一七〇万円が減額され、資本的収入では八、〇六〇万円、資本的支出では八、四八〇万円がそれぞれ追加計上されました。

六月二〇日の本会議において採決の結果、原案のとおり可決されました。この結果、一般・特別・企業会計の総額は、四百四十二億九千八百三十万円となりました。



旧 南部保育所

常任 委員長 報告

六月定例会において、議案十二件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われました。なお、委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育

総務教育常任委員会
委員長 木村吉雄

◎議案第六十四号・第六十五号・第六十六号・第六十九号・第七十号・第七十四号については、可決すべきものと決しました。
〔塩竈市市税条例の一部を改正する条例に対する要望意見〕
○市税については、電話催告や臨戸徴収（個別訪問）等も行いながら収納対策に取り組んでいる状況にあるが、今後とも、収納率のより一層の向上に向け、市民の納税意識の高揚や納税相談の充実を図られるとともに、総合的な収納対策の推進に努められたい。



民生

民生常任委員会
委員長 田中徳寿

◎議案第六十七号・第六十八号・第七十一号・第七十三号については、可決すべきものと決しました。

〔平成十八年度塩竈市一般会計補正予算に対する要望意見〕

○保育所の統廃合による南部保育所の廃止については、昨年度に実施された耐震診断調査において、老朽化が著しく危険であるとの理由から、園児の安全を優先に考え実施されるものであるが、今後も引き続き、安心して子供を保育できる良好な環境の整備に取り組み、園児の健全な育成に努められたい。

また、南部保育所解体工事については、園舎解体及び整地等の工事を行うものであるが、その実施にあたっては、関係機関と十分協議を行いながら、事故防止対策等に万全を期されたい。



産業建設

産業建設常任委員会

委員長 鈴木昭一

◎議案第七十二号・第七十五号

については、可決すべきものと決しました。

〔平成十八年度塩竈市水道事業会計補正予算に対する要望意見〕

○水道事業債における臨時特例措置借換債（高金利対策分）については、平成十八年度の臨時特例措置として、一定以上の未償還企業債を有する場合、既往債の借りかえを行い公債費負担の軽減を図るものである。

水道事業を取り巻く環境は厳しさを増しているが、水道施設の整備拡充は不可欠なものとなっており、事業の健全経営を確保していく上からも、関係機関に対して、今後も借りかえ条件の一層の緩和並びに借りかえ枠の拡大を求めていくとともに、現在は借りかえが行われていない「政府債」についても、「借換債の創設」について積極的に働きかけを行われたい。

常任委員会 傍聴のお知らせ

市議会の常任委員会の一般傍聴者は定員が7名で、傍聴の申込みが必要になります。手続きについては、次のとおりです。

記

受付時間 委員会開会時刻の1時間前から30分間

受付場所 市役所委員会室（3階）

* 申込者が定員を上回る場合は抽選

討 論

六月二十日の本会議において、議案第六十六号及び第六十九号の二議案について討論が行われ、賛成多数により、委員長報告のとおり可決されました。

なお、討論の概要は次のとおりです。

議案第66号 塩竈市市税条例の一部を改正する条例

反対討論の概要

本条例は、三兆円の税源移譲を行うために所得税と個人住民税の税率を改正するもので、所

議案第69号 塩竈市市税等滞納者に対する特別措置に関する条例

反対討論の概要

本条例は、市税などの滞納者に対して、市が独自に十一項目の行政サービスの手続きを停止あるいは制限する措置を行うものである。市当局は納税の促進並びに滞納の防止を図るためとして、まさに制裁措置であり容認できるものではない。

今回の条例が施行されれば、公営住宅の入居やいきいき企業支援条例、さらには中小企業などの業者の仕事に関する制限も行われるものである。滞納者に

得税と住民税の合計では税負担は変わらないが、市税条例に規定する「個人住民税の負担軽減にかかわる特例」の廃止が盛り込まれている。これにより定率減税が廃止され、さらに負担がふえることになる。介護や医療等の負担がふえる中、大企業の法人税減税には手をつけず、庶民だけに負担を強いる税制改正である。公的年金控除額の引下げ、老年者控除の廃止等に加え、定率減税が廃止となれば、市民への負担増は明らかであることから、改正に反対するものである。

賛成討論の概要

今回の条例改正は、地方分権については、これまでも地方税法に基づき納税の猶予等が行われてきている。

収納対策として大切にすべきことは、支払いが困難に陥っている方に対する制裁措置ではなく、滞納者の状況を把握し、親身に相談に乗ることであると考へ、本条例に反対するものである。

賛成討論の概要

本条例に規定する特別措置は、最終的な強制手段の前段の救済措置として、サービスの利用申請がなされた際に市税等の納入状況を確認し、滞納の事実が判明した場合に納税の相談に応じ

の流れを受けて地方の自立を目的とした三位一体改革の柱である税源移譲を内容とした改正であり、これにより本市に移譲される税源は所得譲与税で四億八千万円と試算されている。

本条例に反対することは、この四億八千万円の財源を失うことになり、塩竈再生への財政政策を考慮しない無責任な見解と考へる。またこの所得譲与税は、市の増収にはなるが、この措置により納税者への増税を行うものではない。今回の改正は国の地方税法の改正に伴う市税条例の改正であり、賛成すべきものとする。

ようとするものである。条例の趣旨・目的は納税の促進と滞納の防止であり、市税負担の公平性の確保と納税に対する信頼の確保を図ろうとするものである。

市税が大幅に落ち込み、地方交付税が削減される状況にあるが、今後も住みよいまちづくりに向けた行政を展開していくことが求められている。行財政改革に全力で取り組まれるとともに、滞納者に対する納税相談を含めた収納対策のなお一層の充実を図ることにより、市税の確保に努めることは自治体としての当然の責務であると考え、本条例に賛成するものである。

六月定例会審議結果

議案番号	付議件名	結果
第六十四号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第六十五号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第六十六号	塩竈市市税条例の一部を改正する条例	原案可決
第六十七号	塩竈市保育所条例の一部を改正する条例	原案可決
第六十八号	塩竈市集会所条例の一部を改正する条例	原案可決
第六十九号	塩竈市市税等滞納者に対する特別措置に関する条例	原案可決
第七十号	塩竈市漁港管理条例及び塩竈市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決
第七十一号	平成十八年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
第七十二号	平成十八年度塩竈市水道事業会計補正予算	原案可決
第七十三号	塩竈市集会所の指定管理者の指定について	原案可決
第七十四号	宮城県市町村自治振興センターを組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決
第七十五号	市道路線の認定及び変更について	原案可決
議員提出議案第五号	「進行性化骨筋炎」の難病指定を求める意見書	原案可決
議員提出議案第六号	飲酒運転撲滅に関する決議	原案可決

五月臨時会審議結果

議案番号	付議件名	結果
承認第九号	専決処分の承認を求めることについて(塩竈市交通安全指導員条例の一部を改正する条例)	承認
承認第十号	専決処分の承認を求めることについて(塩竈市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例)	承認
承認第十一号	専決処分の承認を求めることについて(塩竈市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例)	承認
承認第十二号	専決処分の承認を求めることについて(宮城県市町村職員退職手当組合同規約の変更について)	承認
承認第十三号	専決処分の承認を求めることについて(平成十八年(一)第一九一三三三号 学校給食費請求事件の訴えの提起について)	承認
議案第六十二号	平成十八年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第六十三号	平成十八年度塩竈市公共駐車場事業特別会計補正予算	原案可決

一般質問

本会議における各議員の一般質問の中から二つ取り上げて、その要旨を掲載しています。



日本共産党塩釜市議員
小野 絹子

大型店進出問題の再検討は

議員 ヤード跡地への大型店進出で地域経済は潤わないのではないか。進出計画が遅れているが見通しは。大型店進出には莫大な市税が投入される。収支バランスを示すべき。なぜ地元主体の推進組織ができていないのか。ヤード跡地は中心市街地活性化基本計画で進められたもの。既存商店街（本町、西町）の開発状況を伺いたい。
市長 すでに約七十六・八％の仮換地指定を終了している。事業の効果が早期に市内全域に波及するよう一層努力を重ねたい。
建設部長 進出事業者から間もなく具体的な計画が出される。この事業は事業収支を見込むも



塩釜水産物仲卸市場

のではなく、北浜沢乙線の修景事業と連動し、中心市街地における回遊ルート形成とにぎわい創出を図るものである。

場外馬券売り場進出の見直しを

議員 新浜町交差点の交通量は平日一万七千二百台。馬券売り場の一万二千台（当初の往復見込み）が加われば大渋滞の恐れがある。JRAによれば駐車場は六百五十台分の確保（予定の半分）で、仲卸駐車場等への駐車も否定していない。このような中、馬券売り場設置と市道に対する市の対応と、近隣小学校の児童・生徒の環境について見解を伺いたい。
市長 馬券売り場の設置認可者は農林水産大臣であり、交通問題は所管警察署で協議中と聞いている。JRAから本市に対し

市政に対する一般質問



日本共産党塩釜市議員
伊勢 由典

路線バス廃止計画への対応は

議員 宮城交通のバス廃止計画は、百円バスや清水沢団地線、利府町、七ヶ浜町へ向かう六路線が対象となっている。六月六日にはバス存続の要望書が市に提出されているが、百円バス・清水沢団地線・利府線・加瀬沼線に係る市の方針と県への財政支援の働きかけ、市内六路線の乗降客数について伺いたい。
市長 百円バスと清水沢団地線は市と宮城交通で存続の協議を続けていく。広域の四路線は二市二町で存続に向け協議を重ねていく。県への支援要望に対して、知事からは支援策の検討に着手したい旨の回答を得ている。昨年度の乗降客の概数は次のとおり。①百円バス：二十七万人 ②清水沢団地線：八万五千人 ③利府線：三万三千人 ④加瀬沼線：一



塩竈市立病院

一万五千人⑤七ヶ浜循環線：十七万七千人⑥七ヶ浜線：八千人

医療制度改革の市立病院への影響は

議員 七十歳以上の現役並み所得者に係る窓口負担の引上げや後期高齢者医療制度の創設、療養病床等の削減等が行われる。医療制度改革が病院経営や療養型病床の入院患者に与える影響について伺いたい。また医師確保の状況と救急医療に対する市立病院の役割について伺いたい。
市長 医療制度改革では、再診料・入院時食事療養費の特別管理加算等の引下げや看護師配置に対する入院基本料の引上げが行われており、病院経営には大きな打撃と考えている。また医療療養型病床は三十八床あるが、個々の病床利用者の実情を勘案



社会民主党市議員
東海林 京子

障害者自立支援法にかかると負担軽減策は

議員 障害者自立支援法が施行されたが、障害者に原則一割の自己負担が課されたことにより、障害者の家計は圧迫されている。障害者の自立とは言いながら自立に逆行していると言わざるを得ない。全国的に独自の負担軽減措置を設ける自治体も出てきているが、本市独自の負担軽減策について見解を伺いたい。
市長 法に基づくサービス利用者負担には所得による限度額が設定されており、低所得者には社会福祉法人等による負担軽減措置がある。施設やグループホーム利用者には個別減免策などが設けられているが、法施行後、障害者の生活の負担とならないよう軽減措置が制度化されたところである。今後はアンケート等を通じ利用者の実態や希望を把握し課題整理に取り組みたい。

し適切に対応してまいりたい。なお市立病院では今年四月に常勤医師が十三名となり、今後救急患者の受入れ体制の強化に努め、地域の救急医療にさらなる役割を果たしてまいりたい。

市民の健康管理は

議員 メタボリック症候群は心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす危険がある。本市においてはこの対策にいち早く取り組みため、住民健診で腹囲の測定を入れ、血圧・血糖・脂肪も含め標準値以上の人には結果通知で有病者か予備軍かの範囲をお知らせし、治療や保健指導を全国に先取りして実施すべきと考えるが、市長の見解を伺いたい。

市長 国では平成二十年度から生活習慣病予防強化のためメタボリックに着目した健診に移行するとしており、本市でも近々実施する予定である。それまでの対応として、健診会場にメジャーを用意し、腹囲を自分で測定できるコーナーを設ける。さらに、今年度はメタボリック症候群を



塩竈市保健センター

テーマとした市民健康講座や地域健康教室等を開催し、健康づくりを一層促進してまいりたい。

塩釜ネットワーカークラブ
佐藤 貞夫

東北本線玉川のガード 下脇に歩道の設置を

議員 県道泉塩釜線に歩道の設置をお願いしたい。当地区の近接した場所には、住宅や塩竈斎場等もあり車両の通行等も年々増えている。同路線は県道であるが、歩行者の安全を考えれば事故が発生する前に声を大にして宮城県にお願ひして欲しい。

市長 市では機会があるたびに県に歩道の設置をお願いしている。

しかし県からは、全体的な交差点改良の取り組みの中であれば別であるが、部分的な改良は難しいとの話をいただいている。市からは交通事故が増加傾向にある中、事故の撲滅、高齢者、子供たちの安全確保のためには再考いただきたい旨お願ひしている。

市としても、周辺にある市の道路網を有効に活用しながら、駅まで安全に到達できる「道路ネット」について検討してまいりたい。

東北本線塩釜駅前 に公衆トイレの設置を

議員 駅舎外部にあった東北本線塩釜駅のトイレは、平成十五年に内部へ改築移設後、駅職員に断わらなければ利用できないという状況にある。周辺町内会や利用者からは「不便を感じている、何とかならないのか。」との意見をいただいている。そこで駅前広場へトイレを設置することにしている見解を伺いたい。

市長 塩釜駅のトイレは、十五年三月にバリアフリー対応のトイレとして改築を行った際、現在地に移設された。駅前広場のトイレ整備については、西部地区町内会連絡協議会の際にも質問を受けている。塩釜駅開設時、国鉄との間で同駅に駐輪場を利用されるように協定を結んで整備するということになっている。



塩釜駅前

いるが、昨今時代の変化があるのでトイレの設置についてはJRと協議させていただきたい。

公明党
浅野 敏江

マタニティマークの活用は

議員 我が国の昨年の合計特殊出生率は五年連続の低下となる一・二五であり、本市出生率は県内最下位となっている。育児支援に係る早急な環境整備が必要と考えるが見解を伺いたい。

また厚生労働省は今年三月、妊婦への配慮を促すマタニティマークを全国統一マークに決定した。本市における同マークを活用した妊産婦への優しい環境づくりについて見解を伺いたい。

市長 市では保育所の受入れ態勢の強化、子育て支援室の取組み等を行ってきたが、育児支援の問題は地域全体が子育てを支援する体制づくりが肝要である。

マタニティマークは広報紙やポスター、ホームページでPRをし、六月からは市が作成したストラップを母子手帳交付の際に妊産婦に渡している。電車やバスで席を譲るとか近くでの喫煙を控えるなど妊産婦に優しい環境づくりを喚起していきたい。

安全確保にメールシステムの導入を

議員 「AN SINメールシステム」とは、子供の安全にかかわる情報を希望者の携帯電話やパソコンに電子メールで配信するもので、大阪府池田市で運用されている。導入により安全意識が高揚し、市民・団体の連携等、高く評価されている。本市への「AN SINメールシステム」の導入について伺いたい。

市長 子供の安全監視と見守り強化の一つとなっているメールを活用した情報システムについては、第二小学校において希望する保護者に不審者情報を提供する緊急連絡網を整備している。今後、他の学校における情報伝達システムについても具体的に検討し、児童生徒の一層の安全確保に努めてまいりたい。



塩竈市立第二小学校



公明党
吉田住男

広域観光は

議員 ①観光振興を推進する上で、二市三町を含めた広域観光の取り組みについて伺いたい。
②外国都市との経済・文化交流について伺いたい。
③今後も国際都市とのかかわりを促進し、外国人観光客の誘致、国内の友好都市交流を推進し、交流人口の拡大を図るべきだと思いが市長の見解を伺いたい。

市長 ①一つの市町村では対応が難しくなっており多様化する観光客のニーズに対し広域的に取り組んでまいりたい。②水産業関係では中国から研修生を受け入れている。教育分野では中学校海外研修派遣事業の実施やラッコ船開盛丸の縁によるユネスコ協会と米国シトカ市との交流を重ねてきた。③友好都市はないが民間の方々の力を借りながら活動の連携の中でなお一層国際交流を深めてまいりたい。

歴史と文化をどうよみがえらせるのか

議員 塩竈は東北で最も長い歴史があると言われている。塩竈の浦は、歌枕として使われ三百

十七首もの和歌に詠まれている。これらから抜粋したものを「塩竈百人一首」としてまとめたものは市民の文化的資産といえる。これらを地域再生、観光振興、教育にどのように活用していくのか。年一回塩竈百人一首かるた大会の開催を提言するものがあるが見解を伺いたい。

市長 西町地区には和歌を刻んだ石版を四十六基設置している。二十年度までに五十六基を配置することにより塩竈の豊かな歴史、文化を十分に堪能していただけるかと確信している。また、和歌にちなんだ植栽を施すなど一層門前町の雰囲気味わえるよう整備を進める。一連の整備が完了すれば、神社とともに歩んだ本市の歴史と海に向かって開かれた近代史とを結ぶ道が形成される。かるた大会については機会を改めて回答したい。



和歌を刻んだ石版

市政に対する一般質問



ニュー市民クラブ
田中徳寿

資本費平準化債のさらなる活用を

議員 一般会計における資本費平準化債の活用について市長の見解を伺いたい。

また三位一体改革の全体像が明確になるまでは起債の制度を活用し基金を貯えるべきとの見解もあるが、当市において資本費平準化債の活用が可能となる起債残高について伺いたい。

市長 地方債は世代間の負担の公平を図る上で重要な財源で、後年度の公債費負担増に留意しつつ積極的な活用を考えている。一般会計の公債費負担の平準化策として、昨年度は利率三%以上の公的資金十三億四、七九六万円余を一・八一%の民間資金に借りかえ、平成十八年度の公債費償還額を二億四千万円減額している。また、利率が三%未満で借りかえ可能な公的資金の平成十七年度末残高は十七億五千二百万円となっている。

教育力の一層の向上を

議員 教育力並びに生徒の学力向上対策について、何が一番重要なのか教育長に伺いたい。今、

いろいろな地域で教育力を高める方法を模索している。仙台市は夏休みを短縮すると新聞に報じられ、築館地区は蔭山先生の百マス計算法により教育力を高める努力をしているが、当市はどのような方法を実践されているのか伺いたい。

教育長 本市では教育力の向上にあたり本年度から三カ年計画で「わかる授業」の推進に取り組んでいる。その推進に向けて、指導主事の配置や教科指導員の任命、さらには授業研究会などを通して児童生徒並びに保護者からの信頼される指導力のある教員の育成に努めている。

また学力の向上には、家庭学習の定着化が大切と考え、家庭学習の進め方に係るカードを配布し自己の目標設定のもと、その定着化へ取組みを進めている。



塩竈市教育委員会



ニュー市民クラブ
志子田 吉晃

行財政改革の進捗は

議員 市長就任以来三年間の行財政改革のうち特に①職員定数の削減②一般会計予算の歳出事項別割合の変遷③一般会計、特別会計、企業会計の決算収支状況の実績について伺いたい。

市長 ①五年間で百名を削減する数値目標を掲げた。三年経過した本年四月現在の職員数は七百五十五名で九十一名の削減となり既に目標の九十一%を達成している。②十四年度と十八年度の当初予算を比較すると、特に普通建設事業費は、二十二億五千二百万円、八十四・三%の大幅な減となっている。一方、生活保護費等の扶助費は毎年増大しており、同年度比では七億円、三十一・一%の増である。③一般会計の実質収支は二億七千万円の赤字、実質単年度収支では約三億三千六百万円程度の赤字となる見込みである。各特別会計は収支均衡が図られる見込みである。水道事業も収益収支で純利益を生じる見込みであるが魚市場、駐車場、病院の各会計は累積赤字を生じている。

入札制度の改善は

議員 ①債務負担行為導入による落札率の見込み②随意契約の見直しによる効果③競争性、公平性確保のための制度改善について市長の見解を伺いたい。

市長 ①十七・十八年度四月一日契約の比較では、落札率で二・一ポイント低下、契約額では一千六百三十七万円の減額となっている。②随意契約は年々減らしてきている。今後もお同一層競争入札に移行させていくため検討していく。③簡便な登録手続きで見積徴収に参加できる小規模工事等契約希望制度を発足させ、受注機会の拡大と競争性の向上を図っている。七月からは予定価格の事前公表を試行的に実施する予定であり、市民により分かり易く透明な契約方法に改善していく。



市長 答 弁



ニュー市民クラブ
今野 恭一

基幹産業の立て直しは

議員 今、本市の水産業や水産加工業、建設業者等が倒産に追い込まれ、廃業を余儀なくされている。労働者は失業に追い込まれ、職を求めて市外へと転出せざるを得ない状況にある。人口の減少が、市民税や交付税等の落ち込みにつながり、本市の財政に大きな影響が出てきている。本市基幹産業の立て直しについて、市長の見解を伺いたい。

市長 近年、水産業・水産加工業を取り巻く環境は厳しさを増し、魚市場水揚高の減少、加工原魚不足、価格の高騰等により、生産額の減少を招いている。これまでも漁港背後地を活用した水産物流基本構想やマグロのブランド化、衛生管理の充実等、様々な取り組みが行われているが、市も水産業、水産加工業界が苦境を脱するために、業界とともに取り組んでいきたい。

本市産業の活性化を

議員 財政再建には本市の既存産業の活性化とJRAウインズ等産業の誘致以外にはない。

「産業の活性化なくして財政再建なし」「産業の活力をなくして福祉なし」である。市民が豊かにならずして塩竈市が豊かになるはずはなく、財政再建は「富民政策」からであると考えるが、市長の見解を伺いたい。

市長 本市では新たな企業誘致として貞山地区の遊休地に自動車リサイクル施設を、海辺の賑わい地区にはまちづくり参画事業者の誘致を進めてきている。また本年四月からは「いきいき企業支援条例」を施行し企業の進出や施設の増設等への優遇制度を導入している。今後も地元団体の会合等で制度の説明を行うほか、東京で開催される県主催の企業立地セミナー等の機会を活用しPRを行っていききたい。



海辺の賑わい地区



ニュー市民クラブ
木村 吉雄

リーダーシップと行政力の向上を

議員 市長は「日本一住みたいまち塩竈」の実現の公約のもと、施策の選択と集中を柱としてまちづくりを進めてきた。住みやすさ、暮らしやすさ、豊かで個性を持つ魅力的なまちを望む六万市民の幸せのため、市長はどのようなリーダーシップを発揮し、行政力の向上に取り組んでいるのか伺いたい。

市長 行政もまた経営であり、市長のトップマネジメントを軸に、組織全体を機能させていくことが行政能力を高めるものと判断する。部長の政策目標である「ミッション」や、課長の取り組み方針である「チャレンジ」を庁内外に公表しながら、全庁が一丸となり、市民の皆様の協力のもと、私自身がなお一層のリーダーシップを発揮し、「日本で一番住みたいまち塩竈」の実現に努力したい。

合併に関する考えは

議員 平成十七年から施行された新たな合併特例法は、平成二十二年三月末日が期限である。

合併に関する県の構想や考えはどのようなものなのか、また、市長としてどのような見解をお持ちなのか伺いたい。

市長 今年二月に村井県知事と塩釜地区二市三町の首長との懇談を行い、合併についてはこの二市三町の枠組みが今後目指す方向性であることで意見が一致し、私自身も実現性が高い合併と考えている。一方、各市町には個々の事情があり、調整が必要な課題も山積している。本市としては厳しい財政状況を乗り切るため、行財政改革を推進し行政能力を高め、周辺市町から本市との合併を望まれるようなまちづくりを進めていきたい。合併には何よりも市民のコンセンサスが重要であり、様々な機会をとらえ市民の皆様と意見交換をし、合併の機運を醸成してまいりたい。



市役所本庁舎

市政に対する一般質問

決議

▼飲酒運転撲滅に関する決議

交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、市民全ての切実な願いであるとともに、長年の課題でもある。

昨年五月二十二日、塩釜警察署管内において発生した、学校行事で道路横断中の高校生の尊い命を奪い、幸せな家庭を一瞬にして崩壊させた飲酒運転に起因した交通事故は市民に大きな衝撃と深い悲しみをもたらした。飲酒運転による交通事故は、危険運転致死傷罪の新設や飲酒運転の厳罰化等を背景に、全国的には減少傾向にあるものの、依然として悪質な飲酒運転による人身事故は後を絶たない状況

意見書

▼「進行性化骨筋炎」の難病指定を求める意見書

「進行性化骨筋炎」は「進行性化骨性線維異形成症」とも呼ばれ、約二百万人に一人の確率で発病し、未だ原因不明な部分が多く治療法も確定されていない難病であります。

医師や看護師でも認知度が低く、さらには患者会や支援団体

である。

飲酒運転撲滅のためには、運転者の交通安全意識の向上はもとより、家庭や職場さらには地域が一体となって、「飲酒運転は絶対にしない・させない」という強い意志を示すと同時に、飲酒運転の取締り、交通安全思想の普及・啓発等の施策を強化することが重要である。

よって、市当局に対し、関係機関・団体と連携のうえ、市民の交通安全意識高揚のための対策、飲酒運転等の悪質・危険運転者の根絶対策等の推進を強く要請するとともに、飲酒運転撲滅と交通事故のない安全で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて不断の努力を払うことを決意する。

以上決議する。

も無いため、この難病に悩む患者数の実数も把握できていないのが実情であります。

「進行性化骨筋炎」は、筋肉が骨に変化し骨が身体の関節を固め、あらゆる部分の動きの自由を奪います。また、身体の変形に伴い、呼吸器官や内臓への影響もある上に、病状の進行が速く、限度のない症状悪化に患者や家族は不安を抱えながら生活しています。

アメリカなどでは、当該疾患

請願

今定例会で審議された請願は四件で、審議結果は次のとおりです。

▼閉会中の継続審査としたもの

「請願第二十三号」 患者・国民負担増計画の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める意見書提出についての請願

「請願第二十五号」 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出に関する請願

「請願第二十六号」 国に最低賃金制度の改正を求める意見書採択に関する請願

▼不採択としたもの

「請願第二十四号」 「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する請願

に係る研究がなされており、日本ではまだ行われておりません。

つきましては、国において早期に「進行性化骨筋炎」を特定疾患調査研究対象事業の対象疾患に指定（難病指定）され、研究を進めると同時に一日も早く治療法の発見にご尽力を賜りますようお願いいたします。

以上、地方自治法第九十九条の規定により、意見書を提出します。

する請願

▼取り下げとなったもの

「請願第十八号」 個人所得課税における各種控除の安易な縮小を行わないことを求める意見書提出に関する請願

表彰

第八十二回全国市議会議長会定期総会（五月二十四日）において次の方々が表彰されました。

◎議員在職十五年以上

菊地進
武田悦一
伊藤栄一
志賀直哉
吉川弘
菊地進
香取嗣雄

◎感謝状（地方財政委員会委員）

菊地進

香取嗣雄

次回の定例会（九月定例会）
九月十一日（月）開会予定

編集後記

今年の六月・七月は、サッカー・ワールドカップドイツ大会で熱く燃えた月でした。夏真っ盛り、祭囃子も聞こえはじめにぎわいも楽しい夏祭りの季節になりました。皆様は、いかがお過ごしでしょうか。市議会だより第百六十三号をお届けいたします。

今後も皆様に親しまれる議会だよりづくりに努力してまいりますので、よろしく願います。

（議会報編集委員会 委員長 嶺岸淳一）

暑中お見舞い申し上げます

平成十八年盛夏

塩竈市議会議員一同

*公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞いなどを出すことは禁止されております。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。